

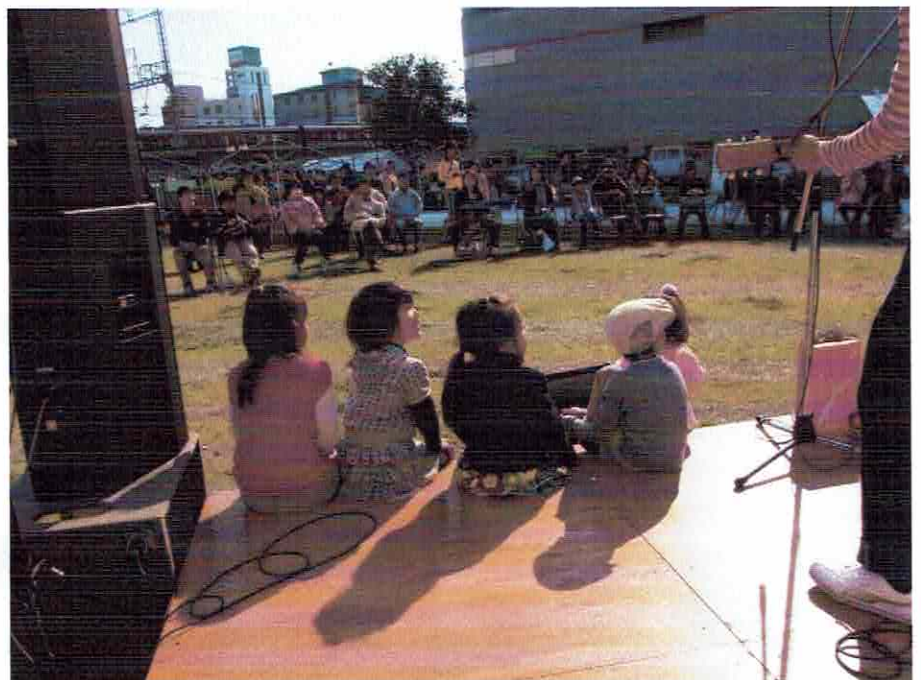
アースデイなら South2011 開催報告

アースデイなら South 2011 が、何とか無事終了した。

前日からの雨もあがり、晴れた空の下、時折強い風が吹く、春らしい天気の中でのアースデイとなった。

ブースは年々充実してきていて、従来からの常連さんに加えて、植物性ドーナツやベンガラ染め、焼き物、カフェなど、日頃からエコに自覚的に取り組んでおられる人たちが多く出店してくれた。

進行の Ikemoto さん、Sakai さんのオープニングトークで始まり、後援の橿原市長の挨拶、そして出店者の紹介や、楽団ひとり、Salt & uribossa + itaminho、ぴちぴちぴーち、福本俊介さん、キンキ雑楽団などの各ミュージシャンのライブが続いた。



国際森林年のイベントは、家具作家 Yuasa さんの「木の話」。木の由来を知ることができる手作りの家具の話から、平和やエコをも手の届く確かなものにしようという、静かで強い主張が、Yuasa さんの素朴な語り口で述べられた。

ほっとねっと総会

日時：7月1日(金)18:30~19:30
場所：奈良県社会福祉総合センター3F 第2会議室
内容：昨年度活動報告・今年度計画・今後の方向性等

(懇親会) (参加費：ひとり3000円ぐらい)

日時：7月1日(金)20:00~21:30
場所：小料理元気(TEL0744-29-7762)

ステージ終盤は、Hanon と Sora の2つのゴスペルグループ。声の力が重なり合って、音の熱いシャワーを浴びているような感覚になる。強く吹く風を感じながら、コーラスのメッセージの世界に吸い込まれてゆく快感！その後の、ゴスペルグループのまとめ役、テツナリさんの飛び入りアメージンググレイスも圧巻だった。

そしてアンニョンクレヨンからエンディングへと続き、参加者の合唱で締めくくった。（音楽仕切りのIさん、良かったです！）



今年は、3月の東日本大震災をうけて、被災者への支援と、出口のない原発事故への対応が大きな問題となっている最中での開催となった。加えて、国際森林年の年でもあり、人が自然とどう向き合っていかなければならないかが、深く問われているアースデイなのだった。

僕とは言えば、原発に完全にシフトしてしまったエネルギー政策がこんなに深刻な事態を引き起こしたことへの憤りと、命をかけた原発作業員の姿と、福島原発を受け入れてきた、受け入れざるを得なかった、あるいは必死に反対してきただろう福島県民と、刻々と変わる原子炉と放射能汚染の状況の中で、どのようなメッセージが可能なのか、戸惑っていた。

結局、「自然エネルギーでの復興支援」を呼びかけようと考えたが、準備不足で十分アピールすることができなかった。

司会のお二人さん、出店者や出演者、PAさん、樫原市と市労協の皆さん、電源を提供頂いた方など、様々な協力を頂きながら、行き届かない面も多々あった。僕が改善するとは言わないけれど、次回は参加者の創意で少しずつ改善してゆけるよう、準備をしてゆきたいと思う。ご協力ありがとうございました。

（理事長ブログより）

ステージとブースのよい関係



毎年アースデイの司会をなさって居る Salt さんからのご紹介で前にお客様で三度 位来させて頂きましたが今回はゲストとして出演させて頂きました!! 今回は風が強くて他のゲストの方も大変そうでしたが何とか歌い切って居たので 凄いなって思いました。今回のアースデイには Salt さんの呼びかけでカフェテラス NZ のライブに出演された「NZ ファミリー」の方が三組程出演されて居たので彼らの歌声を久々に聞かせて頂きました☆☆



所で私はキンキ雑楽団と言う楽団のメンバーの一人であースデイ当日はベンガラ染め体験等のお手伝いをしながらステージに出演しました☆☆ さをり織りは人それぞれの個性が出てとても素晴らしい織りなので皆様にこよなく愛され続けて居ます!! 当日はその織りを身に纏いキンキの皆と共にステージに出演させて頂きとても良かったです☆☆ 来年も又機会があればキンキとして声が掛ければ出演させて頂きたいです♪♪ めっちゃ楽しかったです!! 有難うございました。

雑楽団メンバー 尾崎真絹

自然の中でのんびり過ごし、平和を考える1日



4月24日アースデーが樫原でもあると聞き、確か当日はわが町では市長選、市民はいざと言う時の備え「防災・防水」が一大関心事になりつつあるなか、チラッと行って見ることにした。会場はいたって簡素。いくつかのテントブースとほとんど高さのない低いステージ。

「沖縄ミニ文庫」も当日テントを出していた。高田に沖縄文庫を構えて5年、600冊の沖縄の歴史、文化などの図書、300本のDVDなどの映像を集め自宅を開放し、小柳洋さんが主宰する。大和高田の人。歴史好きで沖縄戦を勉強しているうち、平和と沖縄にはまったという。高田の人が沖縄のことを知りたいと思つとき「沖縄文庫」が少しでも役立つだろうと考えた。名刺によると、「平和のための戦争展」ホームページ製作者。

アースデーはなんとも、のんびりした祭りだ。声高にメッセージを伝えるでもなく、物を売り込むわけでもない。たくさん人が集まったわけでもなさそう。そこにあったのは、楽しみ方というか、1日一緒にゆっくり過ごそうよというさりげない語りかけ。何かにとりつかれたように、あくせくしない。

高さのないステージからは歌い演奏する人の楽しさが伝わり、ゆっくり楽しむことができる。

どうやらアースデーは生き方、過ごし方の提唱のように見える。東日本大地震を目の当たりにして、わたしたちができることは、義援金、ボランティア、そして節電。これは努力次第で、3割・4割は可能だと言う。しかし、風に吹かれ自然の中でのんびり過ごすことが一番の省エネ、それが安全・安心につながるのかもしれない。

そして小柳さんに聞いてみた。彼は辺野古の海を守ることが地球環境をまもること。基地はいらないし原発もいらない。必要ない。と言う。

歴史ある大和高田は、紡績とともに日本の戦前、戦中に栄えた商業都市だ。現在整備されている近鉄・JR駅周辺は巨大な紡績工場群だった。まちは日本有数の商業都市に発展した。しかし、今その面影はない。聞こえてくるのは「昔はよかった」。例にもれず、高田も地域活性化にとりくんでいる。「環境展」「ものづくりフェア」などとりくみは多い。震災前、ダンボールハウスが展示されていた。避難所でも活用できるプライバシーも少しは保障できる組み立てみにハウスだ。どう見てもこれは商売にならない。そう思われる商品。今回の震災では役立つことはなかったが、試作していた企業も実に真摯に災害のときを想定していた。ペットボトル温水器が人目を引いていたり、エコ社会の入り口を開けようとしていた。



その街でがんばっているのが「沖縄平和文庫」。もう一つは今回のアースデーにも参加していた「ブルーム」だ。次回はこの高田の仲間を紹介しよう。

中和新聞・岡田裕介

募金報告

前号でお伝えしましたとおり「被災地を太陽熱・太陽光など自然エネルギーで支援しよう」との呼びかけに賛同して、アースデー当日と後日に有志のカンパにより合計15000円を「アースデーなら South 実行委員会（事務局・ほっとねっと）」として東日本大震災「つながり・ぬくもりプロジェクト」に寄付させていただきました。引き続き同プロジェクトへの募金活動を続けていきます。

アースデイ奈良 2011 & アースデー 2011 in なら

奈良公園でなら South と同日開催！



同じく4月24日、奈良公園登大路園地でもアースデイ奈良実行委員会主催の「アースデイ奈良2011」とならコープ主催の「アースデー2011 in なら」が合同開催されました。震災を踏まえ、今年のアースデイ奈良は、食とエネルギーを改めて問い直す意図を強めての開催となりました。ステージでは、音楽やダンスなどのパフォーマンスやトークに混じって紙芝居「かいじゅうげんぱつどん」。1980年代後半に絵本として登場してから少しずつ形を変えながらも「上映」され続けてきたものなのですが、その遜色のなさに、創作者、「上映」者に対して改めて驚きを敬意の念を抱かされました。

また、高校生による「自然エネルギー」の実演などを観ていると、こんな大変な時だけに未来への光を感じたりもしました。

例年、リユース食器の導入や授乳室つき母子休憩所設置など、イベントそのもののあり方の啓発も地道に行いながら「毎日がアースデイ」の100年後を目指しているところです。

エンディングで紹介された、ならコープ企画の環境川柳の受賞作品の紹介を・・・。

3位「人間の驕り昂ぶり身にしてみる」「ごみじゃないわければ立派な資源です」

2位「少しづつ昔のくらしにもどそうよ」

1位「“節電”と乾電池抜くわが娘」



チェルノブイリ原発事故以来、脱原発社会に向けた長く地道なアクションが積み重ねられてきたわけですが、今回はストップ・ザ・もんじゅなど中心メンバーの呼びかけに、いつもの「釜日労」のような労組などに加え、自然保護、健康・安全を考える市民団体や大学サークルのほか、大きいお腹の女性やベビーカーを押す若い父母の姿、そして原発反対を「カミングアウト」した俳優さんなどが三々五々集まってきたところが大きく違ったところでしょう。「誰かに痛みを押し付ける世の中はよくない」（「奈良脱原発ネットワーク」堀田さん）「広島・長崎・チェルノブイリを繰り返すなど言ってきたのにこんなことになって非常に悲しい。今後も原発労働者の支援をしていきたい」（「チェルノブイリ・ヒパクシャ救援関西」振津さん）などのメッセージを共有した後、3000人の長い長い列が御堂筋に繰り出しました。

原発いらん 関西行動

3000人が集結

4月16日中之島公園集会&御堂筋デモ



野次馬情報 掲示板

☆性と生を考える会ぶらっとサロンがぶかぶか 6月

日時：6月2日（木）18:30～20:45

場所：奈良市生涯学習センター3F 学習室1
市内循環バス「大森町」すぐ、JR奈良駅徒歩10分

参加費：500円（資料代） 申込不要

テーマ：「セクシュアルマイノリティ&おひとりさま お役立ち情報」

※世の中はなぜか「男か女のどちらか」で「ココロの性別＝カラダの性別」で、「異性愛カップル／夫婦」であることが前提になっていることが多い。

トーゼン、そうではない人にとって、不便や不利益は多く、将来への不安につながったりもする。

でも、知っておくと便利なこと、使えるもの、準備をしておけること…いろいろあるかも。

主催：性と生を考える会

問合せ：中田ひとみ

(Email:nakatah@kih.biglobe.ne.jp)

携帯 090-9543-4978)

☆布ぞうり無料講習会

日時：6月8日（水）13:00～17:00

場所：奈良ストップ温暖化の会（NASO）の事務所
（奈良市二条町2-5-3、TEL 0742-35-6730）

内容：被災地に、ぞうりの製作およびぞうり販売による支援活動。布ぞうりは避難場所や仮設住宅には最適。地場産業広陵町の靴下端材でつくる無料講習会。

講師：岡田道子さん、木村以都子さんほか（ストップ温暖化推進委員）

※編みあがったぞうりは支援用に提供or1000円で買取

※今後の日程 7月13日、9月14日、以降毎月第2水曜日、13:00～17:00

申込・問合せ：特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会（NASO）（TEL 0742-35-6730、FAX 0742-55-8368、Email: otoiawase@naso.jp）

☆東日本大震災被災者支援チャリティ公演

日時：6月11日（土）14:00～16:00（開場13:30）

場所：奈良県立図書情報館（奈良市大安寺西1-1000）

内容：「きらきら星」の作者、武鹿悦子が語る“いま、心の刻”

■第1部 14:00～15:00 講演 “いま、心の刻”

■第2部 15:10～16:00 童謡コンサート

入場料：大人1,000円、高校生以下無料（事前申込必要）

申込・問合せ：地球市民フォーラムなら

(TEL/FAX 0742-21-8211、Email:

chikyusimin1996@yahoo.co.jp)

課課長)、伊藤 真理さん(奈良県中小企業家同友会事務局長、大津 幹太郎さん(奈良NPOセンター理事)

□質疑応答 16:30～17:00

※終了後、18:00頃まで交流会を予定。

参加：500円（資料代）

定員：70人（先着順）

主催・問合せ：奈良NPOセンター（TEL0742-20-5027 FAX0742-20-5028、E-mail: info@naranpo.jp）

☆集まろう！中之島へ 届けよう！原発やめての声を

日時：6月11日（土）（雨天決行）

【集会】 14:00～14:30 予定

中之島剣崎公園（中之島公園東エリア）

【デモ】 15:00～16:30 予定

御堂筋南下淀屋橋一本町一心斎橋ナンバ

（家族連れでぜひしんどくなったら途中離脱OK）

（鳴り物、プラカード、横断幕等の持参歓迎）

問合せ：ストップ・ザ・もんじゅ

※賛同団体募集中

（TEL072-843-1904、FAX072-843-6807）

呼びかけ団体

（大阪）ストップ・ザ・もんじゅ

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会

若狭連帯行動ネットワーク

チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西

ノーニユクス・アジアフォーラム・ジャパン

（京都）グリーン・アクション

（和歌山）脱原発わかやま

（滋賀）滋賀脱原発を知る会

あすのわ滋賀

（奈良）奈良脱原発ネットワーク

nara-action 実行委員会